

令和4年度 横浜旭陵高等学校 第1回学校運営協議会

- 1 日 時 令和4年5月28日(土) 10:00~12:00
- 2 場 所 県立横浜旭陵高等学校 B棟1F 多目的室
- 3 出席者 学校運営協議会委員：9名(欠席：小玉委員 久保委員 大和田委員)
学校関係者：11名(欠席：山森総括教諭)

4 内 容

○学校運営協議会委員 委嘱(委嘱は2年間)

○出席者紹介

○会長・副会長選出

会長：上白根連合自治会長 中野委員

副会長：大野校長

(1) 校長あいさつ

大野校長

会の次第に先立ちまして、本校の体育館について、お知らせをいたします。お気づきの通り、本校体育館の改修と耐震工事をおこなっております。外壁の塗替えや屋根の熱遮断、錆止めのために鋼材を載せたり、建物の強度を補強するなどの耐震工事です。5月9日に着工、工事そのものの完了予定は令和5年3月8日ですが、公的な建物なので工事後すぐに学校で使えるわけではなく、県の住宅営繕事務所が竣工検査をおこなった後、問題なしと判断されれば、使用可能となります。3月末までには使用できるようになると思われませんが、万が一、検査の中で何かがあれば、工期が伸びる可能性もあります。令和5年度の入学式は、この学校で入学者を迎え入りたいと強く思っていますので、滞りなく工事が終わることを祈っているところです。

令和3年度の学校評価についてお伝えいたします。綴じ込み資料の5枚目をご覧ください。一番上に「県立横浜旭陵高等学校 グランドデザイン」と記したものです。これからご評価いただく学校目標や手立てにつきましても、これがベースになります。特に、その一番上にある「目指す生徒像」である「人と社会と未来につながる力」を身に付けた生徒を育成していくことが大きな目標となります。

そのことを踏まえていただいて「令和3年度 学校評価報告書」、「実施結果」に丸がついた資料をご覧ください。

裏面にわたって5つの柱があり、4つめのコラム、縦の部分に1年間の目標が記されています。昨年度はこの目標を年度当初に設定して、以下、具体的方策や評価の観点を設定して教育活動を進めてまいりました。

右から3つ目のコラム「学校関係者評価」につきましては、皆さんにご意見賜りましたものをまとめてあります。今回は、先ほど触れました「一年間の目標」、「学校関係者評価」としていただいたご指摘、それらを併せて、「総合評価」にある「成果と課題」、「改善方策等」について、昨年度どのようなとりまとめを最終的にしたかをお伝えします。

まず、「1 教育課程 学習指導」につきましては、一年間を目標としまして、先ほどグランドデザインでご覧いただきました「人と社会と未来につながる力」の育成を記しております。具体的にそれを進めていく上で、「②生徒一人ひとりのニーズや進路希望に応えることのできるカリキュラム編成」を念頭に、目標といたしました。その結果、3月12日にいただいたご指摘を受けて「総合評価」、「成果と課題」の「①ICTを使った結果、生徒の授業に向き合う姿勢に積極性が出た」という評価をおこないました。また、②本校の目指すべき生徒像、つまり「『人と社会と未来につながる力』の育成を実現するための新教育課程」を編成することができたと評価をいたしました。

改善方策に向けましては「①ICT機器の更なる活用により授業改善を加速させていく」と締めくくりました。

「2 生徒指導・支援」です。1年間の目標は①基本的生活習慣の確立として②ルールを守りマナーを大切にする、そのような意識の向上 ④生徒会、委員会活動、部活動を上げてありますが、ここにつきましては①に置きましたものが、授業における教科科目の部分です。高校の教育課程は教科科目、特別活動、総合的な探究の時間という、この大きな柱3つで編成されています。

②にあります生徒会、委員会活動は、その特別活動に当たる部分です。部活動は教育課程外になりますが、今の学習指導要領では、教育課程の関連性も見極めながら実施していくこととされていますので、ここに触れています。教科科目以外での主体性を伸ばしていきたいということです。総合評価として、どちらかというと私たちは、実際の教育活動の中で生徒指導に注力せざるを得ないことが多くございます。生徒指導の中でも特別指導や教育相談体制の充実などの観点でまとめています。

「成果と課題」の①特別指導の件数ですが、ある程度の数の減少がございました。

また、③一人ひとりの支援を充実することがよりよい未来につながっていくことにつながりますので、本校はSC、SSWの拠点校ですので、これらを活用して生徒支援をおこなってまいりました。更なる改善方策としては、引き続き特に①、問題行動をさせてしまう前に、未然防止の観点を持っていこうということを年度の終わりに締めくくっているところです。

「3 進路指導・支援」の柱です。①の後半に3年間のキャリア教育実践プログラムとあります。ここに端的に表れているのが、私たちのグランドデザイン、「人と社会と未来に

つながる力」の育成です。未来の自分を思い描いていく、社会の中で自立して、活躍して、人と協働しながらより良い社会を作っていく。そのようなことが高校生には求められますので上げています。①は生徒の三年間を見越したキャリア教育プログラムを実践することができた。あっさりとしたまとめではありますが、本校はキャリア教育に力を入れています。それを一言で言えばこうなります、ということです。

「4 地域等との協働」です。昨年度一年間の目標として掲げたのが、生徒会、委員会、部活動等が学校外でも活動できるような態勢を促進していく、生徒のボランティア活動の参加を促していく、地域と学校が協働することの重要性を改めて認識する。そのようなことを目標として立てました。

「総合評価」は①②③に関わることとして、まとめた表記になっております。残念ながらコロナのために、地域との連携事業、地域貢献活動、ボランティアといったことがほぼできなかったという、大変残念な結果になりました。そのような中でも校内では様々な進路に係った取り組みを継続することで生徒のモチベーションを維持して、未来につながるようにしていったというのが実態です。本年度は実際に外での活動を取り戻していきたいと考えております。

「5 学校管理 学校運営」です。柱として上げたのは3つのことです。学校が信頼して、生徒が通ってくれて、保護者のみなさまも安心してお子さまをお預けいただき、地域のみなさまからは、この学校はきちんとしていると思っていただく必要があります。そのためには、事故不祥事については決して起こさせない、ここは生命線と言ってもいいようなところですよ。また②、今は、開かれた学校でなければなりませんので、情報発信に努めていくということと目標に上げました。また、③防災はあたりまえのこととして感染症の拡大防止を実現していくために校内の状態を整理していくことを目標に上げてあります。

不祥事、事故防止についてはいずれの県立高校においても研修などを行うのですが、本校では特に評価された。代表校として発表をしたという経緯があり、そのことが記載されています。

③新型コロナウイルス感染症についてはいずれの学校も厳しい対応を迫られましたが、本校も懸命に学校の教育活動を止めないために対策を講じたことが書いてあります。

今後の策につきましては①事故や不祥事の防止は常におこなっていかねばならないことですので、研修等は手を抜かず行っていく、そういうことが書いてあります。

学校案内、学校説明会については今までの資料をさらに新しくしたり、取り組みを変えたりということは今、当該のグループなどで工夫をしてくれているところです。コロナにつきましては、まだまだ予断を許しませんので、引き続き感染症対策に力を入れていきます。以上が令和3年度学校評価です。ありがとうございました。

副校長

ご質問ご意見があれば、お願いします。

〈委員からの発言なし〉

副校長

それでは、令和4年度学校目標につきまして校長よりご説明申し上げます。

大野校長

本日主としてご評価いただきたい学校評価学校目標の設定についてご説明いたします。柱が5つに分かれていることには変わりありません。

1 教育課程 学習指導

①につきまして、高等学校の新学習指導要領がこの入学年次からスタートいたしました。従来の教育課程を学んでいるのは3年次生と2年次生、それに対して1年次生は新しい教育課程で学んでいます。それぞれの教育課程が混在しておりますので、私たちが明確に区別して取り組んでいく必要があるため、明記しました。

②につきましては、従来の普遍的と言っている、我が国の学習指導要領の根底にある部分です。知・徳・体のバランスのとれた生きる力の育成、ここについてはいずれの学校においても取り組むことが必須ですので、添えてあります。

取り組み内容につきましては、この後の各グループからの報告のところで説明がありますので、お聞きいただければと思います。

2 生徒指導・支援

今、我が校に限りませんが、小学生から高校生、大人まで、自己肯定感が決して高いとはいえない状況が見られます。そのために自死を選ぶ生徒が少なくないことは、これ以上悲しいことはない、と思っております。全国的課題とは言え、我が校でも明確にしていきたい。生徒の自己肯定感を向上するような丁寧な指導をおこなっていききたい、これまでももちろん丁寧には取り組んでいます。しかし、我が校からは自死を選ぶような生徒は、ひとりも出したくない、そのような思いでやっていきたいと思っております。

また、ご承知の通り、成年年齢の引き下げ、20歳から18歳への引き下げが今年度からスタートしています。一般的には、高校三年生の段階で、成人がいるという状況になります。報道でも様々な問題点が取り上げられ、国会でも法律制定について議論されているような部分です。私たちも意識をしておく必要があります。具体的に学校教育で取り組むのは、②の部分の後段にあります、消費者教育、主権者教育などさまざまなことを考慮しながら、すぐに社会につながっていく、独り立ちをしていく状態の生徒ですので、手を緩めずに教育を続けていきたいと考えています。

③につきまして、規範意識を高める。具体的には、本校では情報モラルの向上が大きな課題としてあります。情報の授業でも、かなり力を入れて教員が指導をしているところではありますが、授業に限らず様々な場面で生徒の批判意識を高める取り組みをおこなっていききたいと考えています。

3 進路指導・支援

3つのことを上げました。これまで通り、キャリア教育実践プログラムに取り組み、さらに充実させていく。グランドデザインの大目標はここに据えて、進路という観点を明確にして社会につながっていくことのできる生徒を育てていくことを記しました。そのためには生徒ひとりひとりの進路希望の実現がやはり大事ですので、ここに書いてあります。

4 地域等との協働

①社会に開かれた教育課程、これは学校内だけで閉じているものではなくて、広く一般の皆様にご覧いただきながら適宜ご意見いただき、それを取り入れながら、社会にも認められた教育課程、あの学校の3年間を通した教育計画はきちんとしているねと言われる必要があるということの一つめに添えました。

また、校外での活動は先ほど申し上げた自己肯定感や自尊心を高めていくつながりでもあります。そのことを実現できるようにしていきたい、その思いを文字にしました。

③についても趣旨は同様です。ボランティア活動の重要性は誰もが認めるところでしょうから、ここに記しました。

5 学校管理 学校運営

まず①、学校にとって一番大事なことは、実は勉強の前に生徒の命と健康です。もっとも大事なことを記した上で、これまで通り、防災体制もそのことを念頭に置きながら改めて見直していきたい、感染症の拡大防止についても、生徒の命と健康をベースに考えた上で改めて取り組んでいきたいという思いです。

②につきまして、これまで通り、当たり前のこととして、学校で事故や不祥事があってはなりませんので、そのことを記してあります。

③学校としては説明責任をとれる校務運営体制が必要ですので、中だけでよければよいのではなく、いつ外の方にご覧いただいてもいいような校務運営をおこなっていきたくと思います。必要に応じてそのことを広報できれば、学校としてもその後の体制整備につながると書いて書きました。私からお伝えするのは、この1年間の目標の部分です。ありがとうございました。

副校長

令和4年度の目標設定につきましてご意見賜りたく存じます。質問ございますでしょうか？

〈委員からの質問なし〉

副校長

では恐れ入りますが、お一人ずつ順にご意見賜りたくお願いします。

中野委員

「5 学校管理 学校運営」の生徒の命と健康を守るための学校体制の整備に関しまして、私たちの取り組みを共有いたします。体育館での避難想定訓練に関しまして、横浜市から避難者同士の間隔をあけるよう言われましたが、そうすると80人くらいしか体育館に入らないことがわかりました。実際に住んでいる方は3000世帯ですので、自宅が壊れて、どうしようもない人しか避難できないということになり、在宅避難の考え方を取り入れているところです。

災害が実際に起きたときに、どう対応していくのかを具体的に一つずつ思案しているところです。災害時には避難者人数や状態の確認、何人分の食料が必要かといったことの状況把握をし、市に報告しなくてはなりません。旭区のボランティアセンターもありますし、災害

ボランティアの報道もあります。高校生の方にも訓練に参加いただき、地域と協力して被災自宅片付けなど災害時対応を学校と連携してできるといいなと考えています。

たとえば、ケアプラザの下に貯水槽があります。そこから水を組み上げる訓練もできると思います。こちらの校内貯水槽から水を組み上げることもできると思います。家に帰れなくなった生徒さんの水や食料のことも考えていかねばならないでしょう。そういった点でもお力になればと思っています。

大野校長

私たちは県立組織で、基本的に地域住民の方の避難等は、横浜市立高校が一時的な主たる避難場所にはなりません。ただ、いずれの地域でも、各県立学校もたとえば帰宅困難者の方が避難する場所として指定されていますので、各地域での連絡会があるはずで。

お声掛けいただければ、どのような形で本校が関わられるか検討させていただきます。ご提案ありがとうございます。

渋谷委員

申し上げたいことは2, 3ありますが、その中でも特に自他を大切にするといいところが、一番大切なことだと思っています。講道館 嘉納治五郎の有名な言葉として「自他共栄」があります。最近海外でその理念に反した人で、講道館の資格を剥奪された人がいるそうです。人間社会においては自他共に栄えるということが基本だと思います。

自分を大切に、他の人も思いやりを持って大切にすることが大事です。

また、新学習指導要領についてですが、いろんな面で読書は大変大事だと考えています。人格形成、他人を思いやる気持ちなどが読書によって育まれます。学校教育における読書に関する計画、読書と新学習指導要領との関係が何かあればお尋ねしたく思います。

宣伝になりますが、連合で地球温暖化対策に取り組んでいます。「旭地球をたすけ隊」をつくりました。参加してくれている方が隊員として30名います。今年度も継続して隊員を募集しています。去年は専門の方からお話を伺っていろいろ勉強しましたが、今年は、一人ひとりが具体的にできることを考えている段階にあります。スタートはゴミ問題です。資源循環局のリサイクル担当者に来ていただいて、ゴミの出し方など勉強しています。5000世帯にリーフレットを配布し、情報共有を図っています。そういう身近なところから活動しようとしています。6月15日にフリーディスカッションも予定しているところです。

7月9日には地域で一斉清掃をおこないます。中森川と白根通りをきれいにしようということを目指しています。ゴミを拾うところから始めます。こういうことが地球温暖化対策につながるのではないかと考えています。未来の子どもたちに何を残せるかということを考えていこうと思います。高校生のみなさんに一緒に参加してもらえたらありがたいです。若い人がいるとみんな元気になりますし、子どもたちにとっても勉強になると思います。以上、PRも兼ねて申し上げます。

大野校長

ありがとうございました。4年間の目標の2つ目のところに触れていただきました。「自分を大切に、他者と協調する」これこそがまさにより良い社会づくりに繋がっていくた

めの根本的な考え方だと思います。より良く自分が生きるということは、他者とともによりよく生きることと同値ですので、そのような思いは決して忘れることのないように大きな目標として据えてあります。

地域の清掃活動など大変参考になります。ありがとうございます。地域のために何ができるのか常に考えていきたいと思っています。

新学習指導要領に関してですが、大きな軸は変わりません。10年に一度のペースで見直しがされます。今回特に、何ができるようになって、どのような力をつけていけばよいのかを具体的に見定めるとか、そのようなことが重点化されました。評価に関わることで4つの観点から3つの観点への変更は、小中高いずれにおいてもおこなわれています。この点につきましては当該グループより後ほど詳しいお話をさせていただきます。ありがとうございます。

山田委員

社会福祉協議会ではお子さんの引きこもりに関する相談を受けることがあります。最近になって中高生のお子さんの引きこもりに関する相談をお受けすることがありますが、その根底には、先ほどのお話にあった自己肯定感の低さ、将来のキャリア形成のイメージができない環境にあるお子さんが大変多いことなどがあるのではないかと感じています。

地域の人と関わったり、学校で相談できる相手がいたりすることで、その将来が変わっていくということになっていきますし、自己肯定感が高まっていくことで、自死を選ばない、学校をやめないというところにもつながると思って接していました。

社協としてできることはなんだろうと思っていたのですが、人との、地域とのつながりをつくることだと思っています。その中で、少しでも「ありがとう」と言ってもらえる経験をするなど小さいことですが、生徒さんたちの学びに繋がっていくと嬉しく思います。

大野校長

直接どこかの団体と関わる関わらないというよりも、たとえば、社会福祉協議会のみなさまのお考え、どのようなお考えで福祉を進めていらっしゃるか、それを教えていただだけでも、我々の教育活動には役に立ちます。お気持ちを楽にさせていただいて、学校を助けてあげようという気持ちでいていただくとありがたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

前田様

生徒たちは高校卒業後、それぞれに就職、進学しますが、特に就職の場合、電話の対応とかできていないと感じます。ここ10年、20年の卒業生は習得していてしっかりしているのですが、教育が今のニーズに変わっています。親が言うということも、なかなかできていませんので、基本的なことができていないという気がします。学校で教えていただけたら会社としても助かるのかなと思います。自分自身も高校卒業後、叱られて仕事をしてきましたが、今は叱ってしまうと引きこもってしまう子が多いので、ケアが必要だと思います。

大野校長

ありがとうございます。まさにおっしゃるとおりです。マナー教育につきましては、本校でも意を注ぎ、生徒たちが社会に出ても恥ずかしくないように、全体として指導を行っています。当該グループから後で申し上げますが、本当におっしゃるとおりだと思います。

前田委員

この学校の子は比較的しっかりしていると思います。PTAで3年間関わってきましたが、挨拶もよくできている人が多いので驚き、感心しました。

大野校長

ありがとうございます。励みになります。

渡辺委員

申し上げたいこといくつかございますが、まず自己肯定感が低いことが長年の課題かと思っています。県高等学校PTA連合会でも長く取り組んでいるテーマです。講演会やグループワークでもよく取り入れられています。今年も県高P連の方でお聞きしたことでフィードバックできることがあればお伝えしたいと思います。

次に、グランドデザインにあります「未来の自分」についてですが、私の就職活動の面接でよく聞かれたのは「10年後の自分について、どう思っていますか。」ということでした。会社によっては「40年後に100周年を迎えるのですが、そのときの自分は？」と聞かれたところもあるそうです。高校生だとちょっと先のことしか考えられない。そういう時期に敢えて、10年後、20年後というちょっと先を考える時間が持てれば、就職進学したときが変わっていきけるのではないかと、違う視点が持てるのではないかと感じました。学校のグランドデザインにもあっているのではないかと思います。

横浜旭陵高校ではキャリアの学びの中で、早い時期からのオープンキャンパス参加など、進路に関する自分の時間がとれればとれるほど、じっくり考えられますので2年生から動いているのはとても良いと思いました。娘が2年生に在籍しています。逐一報告してくれるので、どの先生が何をおっしゃったかなど、細かいことも話してくれて、学校の様子がわかって、とてもおもしろいです。

校外活動に関しては、部活が参加率が低い分、アルバイトを頑張っている生徒が多いと聞いています。アルバイトは学校内のことではありませんが、社会での活動の一つだと考えられます。アルバイトをがんばっている生徒たちに対する言葉掛けが先生方からいただけるといいのかなと思います。先ほど前田さんがおっしゃっていた電話対応や、上役の方への言葉遣いなども、アルバイトでも培える力だと思います。

アルバイトは学業に支障がない程度に積極的にしたらいいと私は考えています。

もうひとつ防災訓練に関してです。横浜市が防災アイデアに関しての減災パンフレットを出していると思います。どうしても防ぎきれないものはいかに減らすかという視点のリーフレットで、ネット上からダウンロードできるものだったと思います。他県がそれを参考に減災にとりくんでいると聞いたことがあります。学校でも、「防災（減災）」みたいな感じで、生徒と一緒に災害を減らすという視点があれば、面白いし役に立つのではないかと思います。

校長

ありがとうございます。自己肯定感について、県高P連でご議論があるとのことですので、ぜひ教えていただければと思います。

未来につながるということについては、教育することって、今のためというよりはどちらかというとも将来のため、です。ただ、私たちは忙しさに忙殺されて、ややもすると未来のことを扱っているということを忘れてしまうことがあります。こんなことを言ってはいけませんが、学校は、今の指導は、大変は大変なのです。

でも、その思いを決してなくさないようにしながら、将来のこと、将来のため、いい社会を作ってくれる人を育てる、そのような思いで教育活動を続けていきたいと思っています。

アルバイトにつきましては、本校では特に禁止しているわけではなく、必要なご家庭があることもよく理解しています。そのあたりを配慮しながら進めています。

減災については私自身がまずは勉強しようと思います。ご指摘ありがとうございました。

副校長

この後、各グループからご説明をいたしますが、その前にいったん休憩といたします。

〈休憩 11時5分まで〉

副校長

再開いたします。各グループからの目標設定のための具体的な手立てについてご説明申し上げます。令和四年度目標設定と同じ資料の右欄をご覧ください。ご質問等は最後にまとめて承ります。

研究開発 東南総括教諭

本グループは、授業改善、授業力向上を主に活動しています。生徒がわかった、できたと思えるような授業づくりを授業者ができるようにという思いで活動しております。

資料4をご覧ください。グループの目標として3つを上げております。本日は具体的な手立て4つをご説明申し上げます。

授業見学につきましては、昨日、1ヶ月に及ぶ授業見学月間が終わりました。授業見学は年2回の設定となっていて、第一回目に当たる今回に関しては、教員が所属年次の生徒をより深く理解しようということを目指して実施しております。次回10月は、教科の指導方法をより深く考えていくための回です。教員間での意見交換や情報交換などを行い、授業改善に繋げていければと考えています。

2つめの授業評価に関しては、年2回、7月と12月に生徒による授業評価を実施しています。昨年度からはGoogleフォームを活用して、オンラインでの授業評価をおこなっています。これらの結果を用いて、教員個人や教科で改善のための分析をすすめています。

3つめ、ICT利活用等と書いてあります。昨年度でICT利活用推進研究校の指定は終了しましたが、ICT機器の利活用を今後も行っていきたいと思っています。生徒がわかったできたと思える授業づくりを行っていきます。

具体的には今年度4月入学生から一人一台端末の購入、活用が決まりました。昨年度まではBYODを用いて個人の携帯電話等を授業に活用していましたが、今年度1年次生は今、事務局が使っておりますものと同じ端末を授業に持参します。これらを用いての授業作りの研

究、検討をし、発信することで、生徒がわかったできたと思える授業作りに繋げていきたいと考えています。

学事情報 大久保総括教諭

学事情報グループにおいて扱うことがらは多岐にわたりますが、主に学習、成績処理、入試等です。先ほど校長からも申し上げましたが、今年的一年生からが新学習指導要領となります。

先ほどご質問いただきました読書というところでは、特に読書という柱があるわけではありません。どちらかというと、ICT活用推進や思考力を高めるための活動、言語活動の充実が書かれています。

一方で生徒らは、活字離れだけでなく、耳から聞く情報を自分のものにできないという課題があったりします。ある研究では、ラジオから情報を聞いても自分のものにできない、たとえばテレビ・youtubeといった画像からの情報は自分のものにできるということが指摘されています。ICT利活用の一方で、ICTを活用しない場面での学習も、非常に重要になってくるだろうと推察されます。今後の新学習指導要領実施においては各教科でさまざまに研究を進めながら授業をしていくこととなります。研究開発グループと連携しながら教科の指導方法についても研究を進めていきたいと考えています。

また、評価に関しましては、旧と新では評価の観点数が違いますので、評価する際に成績処理のミスにつながりやすくなります。

たとえば化学基礎という科目がありますが、2、3年次がとっている化学基礎は旧の学習指導要領、1年次がとっているものは新の学習指導要領です。それが混在していて、担当者は一人で教えますが、その成績処理をするときに、新のものを旧の観点で成績をつけてしまうと大変なことになります。ミスが起きないように仕組みを今年度考えていく必要があるということが、私たちのグループにとっては大きな課題になっていくだろうと考えています。

さらに来年度になりますと、20期生だけが旧学習指導要領で、他はすべて新学習指導要領になります。1年次では、必修科目とあってほとんど全員同じ科目を履修しているのですが、2年次になると、選択科目が増加しますので、多くの科目で新課程と旧課程が混在することになります。単位制の学校であるために講座数も増えますから、その状況の中で、生徒たちのニーズに応え、ミスなく成績処理をし、授業をすすめていくかを考えることが、今年度検討すべき大きな課題だと捉えています。

入試に関しましても、昨年度在県外国人等特別募集が始まりました。まだまだ手探りの状態で、外国につながるの生徒たちの指導をどうしていくかこれから検討していかなくてはなりません。

また、入試制度が来年度実施される入試から改革されることになり、共通試験では面接がなくなります。選考基準も今年度中に検討しなくてはなりません。

今年は、今年度入試業務と来年度入試の検討という双方の入試制度の検討が求められていくこととなります。

さまざまの大きな課題がある一年ですが、在籍する生徒のためにも入学希望者のためにも、学事情報グループとしては、これらの課題解決をしていきたいと考えています。

進路支援 原教諭

先程来のお話にも上がっています生徒諸君の自己実現ですとか、将来に向けた進路実現ですとか、そういうものに対する私どもの支援は、従前のものとは大きく変わるころはございません。

これまで取り組んできたものをさらに発展させながら、生徒への支援につなげていきたいと考えていますが、いわゆる「総合的な探求の時間」だけでは、進路実現には繋がらないと考えています。学習面、生活面、課外活動、地域のみなさんとの繋がりなど総合的に探求していく中で、自分の進路実現につなげていてもらいたいと考えています。

他グループとも連携しながら、まさに総合的に彼らの進路実現を支援していきたいと考えています。これからもどうぞご支援ください。

生徒成長支援

副校長

生徒成長支援グループ 山森総括教諭が欠席のため、メッセージを代読いたします。

【山森先生の手稿を後で挿入】

自主活動 浦野総括教諭

部活動、生徒会主催行事、地域連携を扱っているグループです。さきほど山田様から「ありがとう」と言ってもらうことで自己肯定感、というお話を伺い、まさにそういうところをお手伝いするグループだと感じています。

行事のところで申し上げますと、昨日生徒総会がありました。体育館が使えないということ、コロナの関係もあって、ここ最近では放送でおこなっています。

今年は部活動で良い成果が出た部活動が複数ありました。生徒総会後に引き続き表彰式を放送でおこないました。放送部が式の司会をしました。放送部の生徒が廊下でスタンバイ中に校長先生から「ありがとう」と声をかけられていました。おとなしい生徒で表情がそれほど変わることはなかったのですが、おそらく内心ニッコリしていたのではないかと思います。

放送によるという異例の生徒総会の形式ではありましたが、実施することはできました。コロナに影響されてないグループはないとは思いますが、自主活動グループは特に大きな影響を受けているように思います。

文化祭や芸術鑑賞の行事に関しましては文化祭はそろりそろりと元の状態に戻っていくのかと考えています。

部活動につきましては、先ほど渡辺様から加入率がそれほど高くないというお話がでていました。今年はまだ統計をとっていませんが、例年、加入率は20%くらいです。1年次生が入ってきたことにより、バスケ部はチームは組めるようになりました。野球部はゼロだったが、1人は確実に入部しました。剣道部も、武道場は使えないのですが、外で素振りするだけでもいいからというように元気な1年生が入ってきました。

成果を上げたというところで言いますと、昨年度ゴルフ部と写真部が関東大会出場しました。今年度は、弓道部と陸上部のやり投げの選手が関東大会に出場することになりました。確かに加入率は少なく、限られた人数ではありますが、自己肯定感という面では、成果を上げ、促進に繋がっているのではないかと考えています。

体育館が使えないので苦労している部活動もあります。バドミントン部は安定的に部員がおり、県大会にも出場するというクラブなのですが、練習場所を失ってしまっています。週に一度白山高校と合同練習をして白山へ行っています。また瀬谷西が閉校になるため、3年生の引退後に体育館を借りるなど、練習場所の確保に苦労しています。バスケ部も一緒に瀬谷西へ行っています。経済的な面で、たとえば交通費補助などの支援をしていきたいと考えています。

地域連携に関しましては、以前はイベント自体ができなかったが、少しずつやる予定でということは何っていますので、部活動や有志の参加について、本人と保護者の同意が得られれば、少しずつ紹介できるようになっていると思います。今年の2年次生で卓球のボランティアに行きだしたという話を聞いています。

また、地域連携はボランティアに限ったものではないとも思っています。先日、ズーラシアに行く途中でおじいちゃんが血を出して倒れているという電話が、生徒から学校にあり、救急車を呼ぶよう指示しました。駆けつけたところ、ズーラシアの看護師さんも来てくださっていました。生徒達が言うには血を流したおじいちゃんがふらふら歩いていて声をかけたら倒れちゃったということなのですが、声をかけたことがすごいと思いました。そのうちの一人の男子生徒は救急隊の方が声をかけると詳細に説明していました。救急隊やズーラシアの看護師さんも非常に感謝をしてくださいました。これも地域貢献なのかなと考えた次第です。

生徒達はそういうつもりで地域貢献をしているのではないと思いますが、ボランティアだけではなくて、なにか別の形で地域貢献ができれば、結果的にそういうところを育てていければと思っています。

総務管理 難波総括教諭

学校施設、コロナ対策など学校運営に関わることをしているグループです。生徒との接点が少ないグループだというらえ方をされてしまうときがありますが、それぞれのパートにおいて、生徒と一緒にいろんなことをやっていこうと考えています。今年度、そういったところを中心に活動していきたいと思います。

コロナ対策の方は、一段落というか、昨年度よりは穏やかになってきましたが、常に緊張感を持って活動していきたいと考えています。その分活動の幅も広がってきますので、今までできなかったことなども、今年度更に活動していきます。

グループ内でも、授業で生徒に対しても、私はよく「いろんな風にあたりなさい。」と話します。外部から刺激を受けることが大切だと考えています。グループとしていろいろな動きをしていきたいと思っています。

浦野からも先ほど話がありましたが、校内への入口のところに、弓道部と陸上部の関東大会出場のポスター掲示をしています。生徒会とPTAの支援もいただいています。さらに鶴ヶ峰駅と、三ツ境駅、旭区役所にご協力いただきまして、ポスター掲示にご快諾いただきました。愛校心というか自分の学校を誇れるような意識、仲間としての意識、頑張った仲間が成果を出したことを素直に称える意識などを育てていきたいと考えていますので、このような活動も積極的にしていきたいと思っています。

先程来お話にでています防災の部分について、先日防災計画の概略を提示したところですが、今年度はグループ内でさまざま検討しています。その中の一つとして、生徒一人ひとりに防災ハンドブックを作らせて、ハザードマップやどこにどのように避難するかといった非

常時の自分の動き、保護者との連絡の取り方など、今までワークシートでしていたことを自分たちで書かせて携帯させ、活用するという試みを考えています。自衛隊の方にも協力いただき、防災意識の面で3. 11を風化させない取組を今年度の終わりに考えています。状況が許せば、またお時間とれば、地域の方も参加していただければと思います。

生徒向け広報につきましては、中学生が魅力を感じるような方法を模索しています。もちろん保護者の方の納得も大切ですが、そういうことを今年度は考えたいと思います。学校説明会やポスター掲示などさまざまな取組を積極的にすすめていきます。

個人的に中学校の先生とお話することが多いのだが、高校側の言い分もあるのですが、中学生までできたことが、どうして高校でできなくなるのかとよく聞かれます。大人の扱いという部分もあるかとは思いますが、耳の痛い部分でもあります。今後、節電しましょうとか、ゴミの分別、食べ残しといったSDGs等の話をして、高校でも取り組んでいきたいと考えています。

本グループの活動につきまして、学校全体に対してもそうですが、奇譚のない意見を頂いて、今後の活動を考えていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

副校長

各グループからご報告申し上げました。ご意見・ご質問ございましたら、お願ひします。

渡辺委員

先ほど体育館改修工事のお話がありましたが、バドミントン部とバスケ部の校外練習での交通費の件ですが、遠征費は確か県外だが、県内にも適用できないでしょうか。

自主活動 浦野総括教諭

遠征費は県外のみ適用という規定ですが、生徒会費の予備費を活用して、今年度だけは交通費に充当していこうと考えているところです。ただ、総務とも話していますが、このまま全員が続けているとそれも今後逼迫する可能性はあります。また、お世話になることがあるかもしれないという状況です。

渡辺委員

PTAとしてなにかできることがあれば仰ってください。校長先生を通してお話をいただければと思います。

副校長

他にないようですので、次に、『学校目標』および今年度の本校に期待する取組について追加などございましたらお話しください。グループ等の意見を聞いて「これどうなんだ」というものがあれば、質問があれば、忌憚ないご意見をいただければと思います。特にご指名いたしませんので、よろしくお願ひします。

渋谷委員

先ほど道ばたで高齢者の方を救助したというお話を伺いましたが、救急救命訓練はしていますか？

自主活動 浦野総括教諭

教員は全員受けています。

学事情報 大久保総括教諭

教員は全員受けていますが、生徒はレクリエーションスポーツを履修している者のみで全員を対象とはしておりません。

渋谷委員

小学生達は1回は訓練を受けています。高校生もいざという時のために受けておくとも良いのかもしれませんが。連合自治会にもAEDを設置してあります。今までに3回使うことがありました。毎月お金はかかりますが、助かる命があるなら、1回でも助かれば価値はあると考えて、自治会全体で訓練をしています。

どういうときにそういうことがあるかもしれないので、日頃の挨拶などの習慣を身につけることも大切です。連合自治会では、ある自治会を決めて挨拶キャンペーンをやろうと考えています。高校生にも協力してもらえればお互いプラスになると考えています。

また、今年の連合自治会50周年に関して2つの小学校、1つの中学校の校長先生にお願いをしました。小中学生達に、この先50年後の夢の街の絵を描いてもらおうと思っています。以前、防災フェスタの絵を旭陵の生徒さんに書いてもらったことがあります。素晴らしい絵で感動しました。たしか2年ほどお願いしたと思います。場合によっては、またお願いするかもしれません。タウンミーティングでも区長以下、50年後の夢の街を語ろうと思っています。その時には、よろしくお願いします。

中野委員

10年後、40年後というものの考え方はとても大事だと考えています。自分が将来どうなりたいか、自分の目標がはっきりわかってない子供さんたちが多いと聞きました。昔は大臣になりたいとか社長になりたいとかそういう目標を持っている子供が多かったのですが、最近の子供はそうでないという感じがします。社会に出るときにはある程度そういうものを持ってないと、漠然と卒業したんだけど、いざ就職してみるとやりたいことと違うと行ってすぐやめてしまうことがあるらしいと聞きます。そういうことを子どもたちに教えていくのも大切なことではないかと思えます。

副校長

ご意見ありがとうございます。他にございませんか。

〈委員より発言なし〉

副校長

では事務連絡をいたします。今後の学校行事につきまして、資料の一番後ろに年間教育計画が入っております。ご確認ください。いろいろなことで計画変更する場合もあると思いますが、ご承知おきください。この件につきまして何かございますか。

〈委員より発言なし〉

副校長

今後の学校運営協議会の予定を確認させていただきます。2回目は11月19日（土）10時3回目は3月11日（土）午後です。3回目は午前中にPTAの会議がございますので、午後開催といたします。以上でございます。 これをもちまして令和4年度横浜旭陵高校学校運営協議会を閉会いたします。